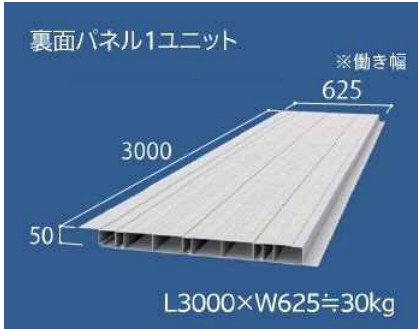


アルミ合金製常設足場「cusa（キュウサ）」

分類コード	(工法(システム)・ 機器 ・材料)		
関連分類コード			
事例集リンク	(有 無)		
問合せ先	会社名	(株) 横河ブリッジ	T E L 047-437-7999
	部署	製品エンジニアリング部	F A X 047-795-2901
	住所	〒273-0026 千葉県船橋市山野町 27	
	E-mail・URL	E-mail : t.miyoshi@yokogawa-bridge.co.jp	URL : https://www.yokogawa-bridge.co.jp/
内容	対象構造物	鋼橋、コンクリート橋	
	項目	橋梁の長寿命化、維持管理の省力化	
	使用機器		
使用実績	新設・既設を問わず、全国の橋梁に設置実績あり。(計 31 件)		
<p>【製品の概要】</p> <p>アルミ合金製常設足場「cusa（キュウサ）」は、常設のアルミ合金製パネルで橋梁の主桁を覆い、その床部分が足場となる製品です。</p> <p>橋梁の維持管理に大きく貢献し、主に <u>3つのラク</u> を提供いたします。</p> <p>① 「協議」がラク</p> <p>cusa は常設された足場のため、橋梁点検や補修工事を行う際に桁下及び本線の規制の必要が無く、下に通る道路・鉄道・河川等の管理者との協議や調整がラクになります。</p> <p>② 「設置・点検」がラク</p> <p>部材が軽量なため、人力での運搬・設置が可能です。また、常設されているため点検の準備が容易となり、フラットな床面は作業効率向上に寄与します。</p> <p>③ 「メンテナンス」がラク</p> <p>cusa で主桁を覆うことで飛来塩分や紫外線等の劣化因子を遮断できるため、主桁の塗装塗替えが不要となり、メンテナンスがラクになります。</p>			
<p>【製品の特長】</p> <p>○軽量かつ剛性の高いアルミパネル</p> <p>アルミ合金製の中空押出型材を嵌合してパネルを形成</p> <p>パネル厚：裏面パネル 50mm, 側面パネル 30mm</p> <p>設計耐荷重：2.1kN/m² (3.5kN/m²まで対応可能)</p> <p>パネル重量：15kg/m²</p>			
			

○高耐久・高耐食な表面処理

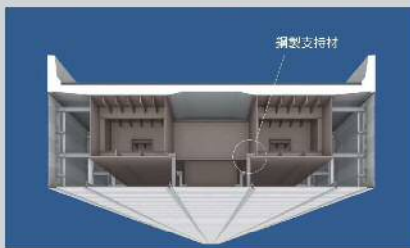
陽極酸化被膜（アルマイト）に電着塗装を施した表面処理技術「陽極酸化塗装被膜」による着色を施しております。一般的な塗装と異なり、色が褪せる・剥げることがないため、美観維持に繋がります。

交通量が多い地域：葛西橋高欄／東京都
昭和38年設置→平成29年撮影（54年経過）

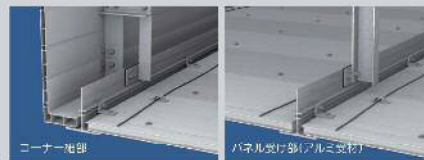


○cusa 構造例（コンクリート橋でも適用可能です）

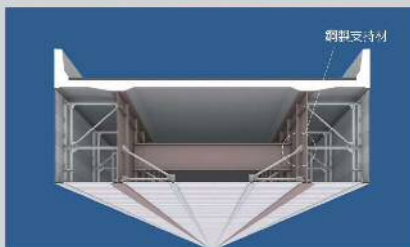
吊下げタイプ



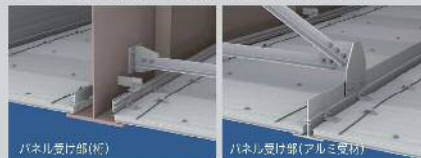
橋梁本体に支持材を設置し、キュウサのアルミ部材で床版から下側の構造を覆う構造形式です。



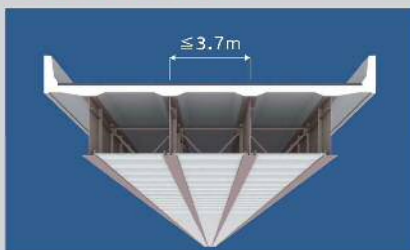
桁間 A タイプ 桁間 3.7mを超える ※作業員が重 210kg/m²・たわみし 100 の場合



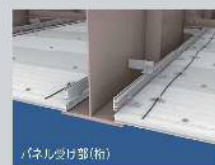
桁下にキュウサを設置できない場合で桁間に設置する形式。桁間隔が裏面パネル支持間隔を超え、鋼製支持材およびパネル受け部(アルミ受材)がある構造形式です。



桁間 B タイプ 桁間 3.7m以下



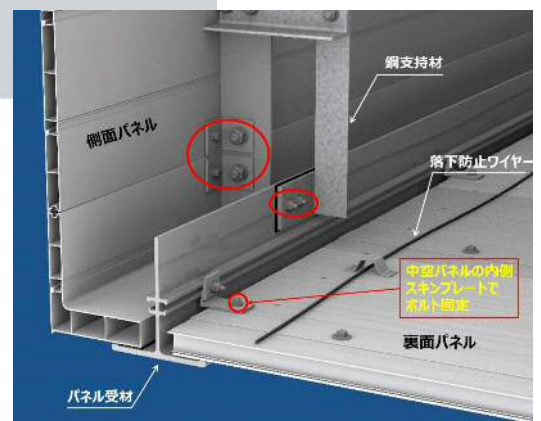
桁下にキュウサを設置できない場合で桁間に設置する形式。パネル受け部(アルミ受材)が無い構造形式です。



○固定ボルトはすべて内側に

完成後外面にボルトが出ないため、ボルトの落下及びボルト部からの腐食の心配はございません。

また、パネルの設置及び取外し作業が内側から行えるため、より安全に作業を行うことが可能です。



参考文献(発表論文)

—

特許取得

・有 ・**無** ・出願中

資料作成日

2023年3月